

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公開番号】特開2005-247527(P2005-247527A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2004-62218(P2004-62218)

【国際特許分類】

B 6 5 H 31/34 (2006.01)

B 6 5 H 31/36 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/34

B 6 5 H 31/36

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月19日(2007.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを排出するシート排出手段と、

前記シート排出手段より排出された前記シートが積載されるシート積載手段と、

前記シート積載手段に積載される前記シートの排出方向に沿った第1の受け止め部材と、

前記第1の受け止め部材に対して直交し、かつ前記シート積載手段の上流側に配設された第2の受け止め部材と、

前記シート積載手段に積載された前記シートを、前記シートの排出方向に対して斜めに搬送して前記第1の受け止め部材と前記第2の受け止め部材とに当接させてシートを整合する斜行搬送整合手段と、

前記シート積載手段に積載された前記シートを、前記第2の受け止め部材に当接させて、前記シートの上流端を整合する上流端整合手段と、

を備えたことを特徴とするシート処理装置。

【請求項2】

前記上流端整合手段と、前記斜行搬送整合手段は、共通の駆動源によって作動することを特徴とする請求項1に記載のシート処理装置。

【請求項3】

前記斜行搬送整合手段は、前記シートに回転して接触し、該シートを搬送する弾性を備えた回転体を有することを特徴とする請求項1又は2に記載にシート処理装置。

【請求項4】

前記上流端整合手段は、前記シートに回転して接触し、該シートを搬送する弾性を備えた回転体を有していることを特徴とする請求項1又は2に記載にシート処理装置。

【請求項5】

前記回転体は、前記シート1枚に付き、複数回回転することを特徴とする請求項3又は4に記載のシート処理装置。

【請求項6】

シートに画像を形成する画像形成部と、

前記画像形成部によって画像を形成された前記シートを整合するシート処理装置と、を備え、

前記シート処理装置は、請求項1乃至5のいずれか1項に記載のシート処理装置であることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するため、本発明のシート処理装置は、シートを排出するシート排出手段と、前記シート排出手段より排出された前記シートが積載されるシート積載手段と、前記シート積載手段に積載される前記シートの排出方向に沿った第1の受け止め部材と、前記第1の受け止め部材に対して直交し、かつ前記シート積載手段の上流側に配設された第2の受け止め部材と、前記シート積載手段に積載された前記シートを、前記シートの排出方向に対して斜めに搬送して前記第1の受け止め部材と前記第2の受け止め部材とに当接させてシートを整合する斜行搬送整合手段と、前記シート積載手段に積載された前記シートを、前記第2の受け止め部材に当接させて、前記シートの上流端を整合する上流端整合手段と、を備えている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明のシート処理装置は、前記上流端整合手段と、前記斜行搬送整合手段は、共通の駆動源によって作動するようになっている。